

# 「アジアにおける紛争解決制度の変容」

“TRANSFORMATION OF DISPUTE RESOLUTION SYSTEM IN ASIA”

講師：Prof. **Anselmo Reyes**

(香港大学教授 / シンガポール国際商事裁判所 (SICC) 国際裁判官)

コメンテーター：小島武司 (中央大学名誉教授)

2018年

**8月3日(金)** 18:00 ~ 20:00  
(開場 17:30 ~)

会場：中央大学 市ヶ谷キャンパス 2号9階 模擬法廷  
(都営新宿線 曙橋駅 A3 出口より徒歩3分)

このミニシンポジウムでは、講演者の近著『仲裁の発展：アジア太平洋地域における仲裁改革の比較研究』(Hart, 2018年)をもとに、香港、シンガポール、韓国及びマレーシアといった先行者とともに、日本がこの地域での主要な紛争解決センターとなりうるかを考えます。報告者には、最近設立された京都国際調停センター (JIMC)、大阪の日本国際紛争解決センター (JIDRC)、さらには東京の日本国際仲裁センター (JIAC。立ち上げ予定) が日本にもたらしうる利益の検討を基礎として、法学生や法曹の教育研修のあり方への提言まで、広範な視点から基調講演をいただくことを予定しています。

お申し込みはこちらをご覧ください

[http://www.chuo-u.ac.jp/research/branding/comparative\\_law/event/2018/07/72398](http://www.chuo-u.ac.jp/research/branding/comparative_law/event/2018/07/72398)



※シンポジウムの内容は英語です (同時通訳はありません)。